

第13回 「ふれあい広場」を終えて



1階大会議室に展示された書道作品

本田上 自治会だより

令和元年
12月5日発行
発行者
時田美野吉
編集／総務部
26号

11月24日(日)に第13回ふれあい広場が記念館で開催されました。小雨降る中でスタートでしたが幸いに雨は早々に上がり、歩こう会中止で懸念された来館者の出足もまずまずで関係者一同安堵しました。

一階の大会議室には、書道、油絵、写真、盆栽、俳句の短冊、陶芸品、絵手紙、木目込みパッチワーク、折り紙作品、手芸品(ミニアイテムズ)、ブリザーブドフラワー、藤の籠、生け花等が展示され、どれもプロの作品と見紛うばかりでした。「写真で見ると自治会行事の1年」も展示しました。二階の小会議室では、子ども会によるキッズクリスマスレスンが開催されました。一階ロビーではふれあいチームのバザー品販売、併せて保健師さんによる健康相談や血圧測定が行

なわれました。

広場では地元の農家さんや商店会、新青会、子ども会等の販売テントが並び、新鮮野菜や果物、お花、あんこ餅やきなこ餅、綿菓子、もつ煮、フランクフルト、ポップコーン等が販売され、お昼にはけんちゃん汁が全員に振舞われました。午後から羽子板の絵付けと羽根つき大会が催され上位入賞者に賞品が授与されました。ゴムパチンコにも子供達が集まりドングリの狙いを定めていました。

曇天にも拘らず大勢の方々に晩秋の日曜日を楽しんで頂くことができました。これからも、ふれあい広場がさらに地域に定着し、発展していくことを願っています。

(文化部 千浦 教光)